

空 手 道 競 技

〈スポーツ少年団の部〉

- 1 日 時 平成30年11月3日（土祝） 9 時30分
2 会 場 広島市安佐北区スポーツセンター
広島市安佐北区深川2-50-1 ☎ (082) 843-4999

3 競技種目 [A] 組手個人戦

- (A-1) 小学生1・2年 男・女の部
- (A-2) 小学生3・4年 男子の部
- (A-3) 小学生5・6年 男子の部
- (A-4) 中学生 男子の部
- (A-5) 高校生 男子の部
- (A-6) 小学生3・4年 女子の部
- (A-7) 小学生5・6年 女子の部
- (A-8) 中学生 女子の部
- (A-9) 高校生 女子の部

[B] 組手団体戦

- (B-1) 団対抗戦の部『1チーム5名、男子で編成』

I. 学年を下回っての出場可、II. 3名でも出場可

(例 I) (例 II)

- | | | | |
|------|---------|-------|-------|
| ① 先鋒 | 小学生4年 | 小学生3年 | 小学生4年 |
| ② 次鋒 | 小学生5年 | 小学生4年 | |
| ③ 中堅 | 小学生6年 | 小学生5年 | 小学生6年 |
| ④ 副将 | 中学生1年 | 小学生6年 | 中学生1年 |
| ⑤ 大将 | 中学生2・3年 | 中学生1年 | |

[C] 形個人戦

- (C-1) 小学生 9 級以下の部
- (C-2) 小学生 7・8級の部
- (C-3) 小学生 5・6級の部
- (C-4) 小学生 3・4級の部
- (C-5) 小学生 2 級以上の部
- (C-6) 中学生 男子の部
- (C-7) 中学生 女子の部
- (C-8) 高校生 男子の部
- (C-9) 高校生 女子の部

[D] 形団体戦

- (D-1) 団対抗戦の部『1チーム3～5名で編成』

小学生1～6年 男・女を問わない、編成は自由

4 競技規定 J K F (公財) 全日本空手道連盟の平成30年改訂版〔空手組手競技規定〕〔空手形規定〕に準ずる。

但し、次については広島県民体育大会空手道競技(スポーツ少年団の部)の運営内規として定める。

団体戦においては、大会当日2名以下となった場合、出場できない。但し、登録した個人戦を棄権し、その箇所差し換えることは可とする。

〔A、B〕組手競技

- (1) 競技時間 小学生・中学生は1分30秒フルタイム。
高校生は2分フルタイム。
- (2) 勝敗の決定 6ポイント先取者を勝者とする。
個人戦では同時に6ポイントを超えた場合はポイントが高い場合を勝ちとする。
団体戦では6ポイントを上限とし、1・2回戦は大將戦まで行うが3回戦以降は勝敗が決するまでとする。内容も同数の場合は、代表による決定戦を行う。
- (3) 安全具着用義務 各自・各団で準備し、着用していない場合は失格とする。

種別	(JKF指定) メンバー	拳サポーター		ボディー プロテクター	シンガード	インステップ ガード	ファールカップ (男子のみ)
		赤	青				
小学生 (男・女)	○	○ (リバーシブルのみ)		○	○	○	○ (小学3年生以上)
中学生 (男・女)	○	○	○	○	○	○	○
高校生 (男・女)	○	○	○	○	○	○	○

インステップガード・シンガードは全空連検定品であれば小・中・高 使用区分の制限はしない。
ボディープロテクター・ファールカップは空手衣の下に着用する。

- (4) その他 10 カウントルールは採用しない。
トーナメント方式とする。敗者復活戦は行わない。

〔C、D〕形競技

- (1) トーナメント方式によるフラッグ判定とし、2名・2チーム(赤・青)同時進行とする。
礼は形を演武する前後の2回を行わないと「反則」となる。判定は係員が行う。

(2) 「予選トーナメント」及び「決勝トーナメント」の区分は次の表のとおりとする。

出場人数	予選トーナメント	決勝トーナメント
16人以上	ベスト8まで	ベスト8から
8人以上～15人以下	ベスト4まで	ベスト4から
2人以上～7人以下	なし	即 決勝トーナメント

(3) 演武する形は、下記の表のとおりとする。

競技種目	予選トーナメント	決勝トーナメント	演武形の数
C-1	各会派・団体において、平安・鉄騎を習得する以前の基本形、もしくは会派・団体、全空連指定の平安・撃砕・鉄騎から選択し、繰り返し演武出来る		1つ以上
C-2～C-5 D-1	会派・団体、全空連指定の平安・撃砕・鉄騎から選択し、繰り返し演武出来る	予選トーナメントで演武した形以外の会派・団体、全空連指定の平安・撃砕・鉄騎、もしくは全空連第1・第2指定形から選択し、繰り返し演武出来る	2つ以上
C-6～C-9	会派・団体、全空連指定の平安・撃砕・鉄騎、もしくは全空連第1指定形から選択し、繰り返し演武出来る	予選トーナメントで演武した形以外から自由に選択し、繰り返し演武出来る	

5 参加資格 原則として、当該年度日本スポーツ少年団に登録している指導者・団員とするが、未登録者の参加も認める。

6 参加料 (1) スポーツ少年団登録団の登録指導者・団員 1人 300円
(2) スポーツ少年団未登録団(チーム)の指導者・選手 1人 500円

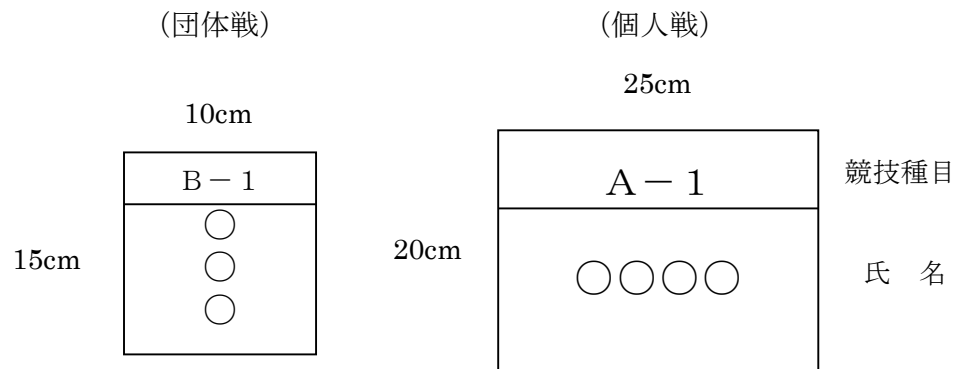
7 参加申込 (1) 総則7-(2)による。
(2) 提出期限 平成30年9月14日(金) 厳守

8 表彰 表彰は3位までとする。

9 留意事項 (1) 参加申込は、1団体につき 1種目1名とする。
競技内容の充実を図るため、1名につき1種目の出場制限とする。
(2) スポーツ少年団旗は必ず持参し、開会式の「選手誓いの言葉」で各団の旗手は選手代表者を半円に囲んで選手宣誓する。
(3) 団旗をつるす時は、当日放送の指示に従うこと。
(4) 参加申込書には必ず大会時責任者を記入する。
大会時責任者は、選手及び応援者の安全確保・行動・言動・モラル、マナー等を含め統括管理する。ただし、試合コート及びその周辺へは付き添わないこと。

- (5) 駐車場については、会場使用打合せ後に大会運営担当者から連絡する。
- (6) 持参品については、必ず団体名・個人名を記入する。
- (7) 会場は使用前の現状復帰とするが、使用前より綺麗にして返館する。
一人一人がゴミの一片も必ず持ち帰ること。
- (8) 競技中の選手の傷害防止対策と安全確保を図る一環にコートマットを設置使用するので、当日大会係員以外の保護者も援助すること。
- (9) 各団2名の係員を派出すること。
参加申込書の係員登録欄に記入し提出すること。
駐車場の優先確保と、昼食弁当を支給する。
競技会役員・係員の役割分担等は、後日文書連絡する。
- (10) ゼッケンについては、各団・各人で次の要領で作成する。
団体戦参加選手全員、左胸に競技種目と団体名を記入したゼッケンをつける。
個人戦参加選手は参加競技種目と個人名を記入したゼッケンを背中につける。

作成要領



9 審判員登録について

J K F (公財) 全日本空手道連盟の平成30年改訂版「空手組手競技規定」
「空手形規定」に準じて運営する。ただし、審判員の確保を考え下記の
通り、登録すること。

- ① 各会派、団体の弐段以上保持者で満20歳以上の審判経験がある者。
- ② 参加団体は、1名以上の審判員登録すること。
参加申込書の審判員登録欄に記入し提出すること。
- ③ 駐車場の優先確保と、昼食弁当を支給する。